

HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOM が、失われてきた伝統技法や、ものづくりの潜在的価値を“サルベージ”する「SALVAGED WORKS」を発表
日本最大級のデザイン&アートフェスティバル「DESIGNART TOKYO 2026」に出展



株式会社博展（本社：東京都中央区）のインテリアデザインチーム「HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOM」は、日本最大級のデザイン&アートフェスティバル「DESIGNART TOKYO 2026」のメイン会場（銀座・有楽町エリア「KK 線」）に初出展いたします。出展期間は 2026 年 10 月 30 日（金）から 11 月 3 日（火・祝）まで。

本出展は、空間デザインを数多く手掛けてきた同チームによるプロジェクト『SALVAGED WORKS（サルベージド・ワークス）』の新作を含めた、本格的なお披露目の場となります。歴史あるものづくりの裏側に隠された潜在的な価値を再考し、現代の新たな表現に変えるプロジェクトです。

プロジェクト概要

「SALVAGED WORKS（サルベージド・ワークス）」は、歴史あるものづくりの裏側に隠された潜在的な価値を再考し、現代の新たなインテリア表現に変えるプロジェクトです。

本プロジェクトでは、ライフスタイルの変化により途絶えかけている工芸技法や、規格外として敬遠されてきた素材、あるいは完成品の裏側に隠れて目に触れることのなかった「プロセスや型」などに着目しました。それらの価値を“サルベージ”し、現代の視点で、これまで出会うことのなかった素材や作り手同士をつなぎ、新たなプロダクトを生み出しました。

ーSALVAGED WORKS コンセプトメッセージ

今まで見えなかったもの、失われつつあるもの、気づかれずにいたもの。

歴史あるものづくりの中で培われてきた技術や知恵。その裏側にあり目に触れなかったもの、途絶えかけた工芸技法、そして現代の技術との掛け合わせから生まれる新しい工法。

見えていなかった潜在的な価値を“サルベージ”し、出会うことのなかったもの同士をつなぎ、時代を超えて新たな表現へとつむぐ試みである。

「HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOM」 が本プロジェクトに取り組む理由

HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOM では、これまで数々のプロジェクトで、オフィス・ショールーム・店舗などの空間デザインを手掛けてきました。

木工大工を原点に約 60 年の歴史を持つ博展が、長年の経験をもとにクラフト精神と、クリエイティブとデザインの経験を掛け合わせ、インテリア空間へと発展させるべく 2025 年に設立したデザインチーム。オフィスやショールーム、店舗などの空間デザインを手掛けています。

私たちは「空間」という領域にとどまりません。創作から生まれるプロトタイプを起点に、分野や業種の境界を越え、これからの時代に向けた新たな関係性をかたちにしていきます。

その第一弾となるのが、今回の「SALVAGED WORKS」です。「素材」や「技術」に改めて向き合うことで、これからのインテリアデザインに向けた新たなインスピレーションと表現を提示します。

出展作品の概要



01 | イグサを編む（フォールディングスクリーン）

畳の衰退とともに減少するイグサ。畳に使えない B 品を日用品へ編み替える産地の技法に着目し、本来床に敷く素材を垂直面へ転換。編むことで生まれる表情から、現代の暮らしに新たな「間」を提案する。



02 | 普段見えない型にこそ（ペンダントライト）

伝統的な提灯の制作過程にのみ存在する「型」に着目。代々継承されてきた型の仕組みと現代の光源を掛け合わせ、異なるかたちの照明として可視化した。

本作品は、2026 年 4 月に開業した、和太鼓パフォーマンス集団「DRUM TAO」の専用劇場『DRUM TAO THEATER KYOTO』の空間にて一部かたちを変えて採用されています。



03 | 木の歪 (ブラケットライト)

寸法変位が敬遠される木材の「歪み」に着目。紙のように薄く裂いた木板を加工し、二度と同じ形にならない有機的な歪みを引き出した。自然素材の偶然性を、異なる陰影を生む照明へと昇華している。

04 | 曲木とシワ (プロトタイプ)

木を曲げる技術は、生産環境の変化とともに切削へと置き換えられ、いつしか曲木と曲木風が混在するようになった。敬遠され削ぎ落とされてきた、木を曲げることでしか表れないシワに着目し、新たな表現として引き出した。

展示概要およびイベント情報

【DESIGNART TOKYO 2026 開催概要】

会 期：2026 年 10 月 30 日 (金) ～11 月 8 日 (日) の 10 日間

エリア：銀座・東京・六本木・外苑前・表参道・原宿・代官山・池尻

メイン会場：KK 線 (旧東京高速道路) 数寄屋橋交差点から東京交通会館まで (11 月 3 日まで)

主 催：DESIGNART TOKYO 実行委員会

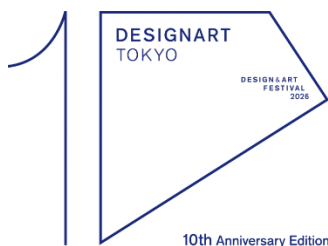
発起人：青木昭夫 (MIRU DESIGN) ／川上シュン (artless) ／小池博史 (NON-GRID) ／永田宙郷 (TIMELESS) ／アストリッド・クライン (Klein Dytham architecture) ／マーク・ダイサム (Klein Dytham architecture)

オフィシャルウェブサイト：<https://www.designart.jp/designarttokyo2026/>

INSTAGRAM：@DESIGNART_TOKYO

入場料：有料 (入場にはチケットが必要です)

チケット購入はこちら：<https://artsticker.app/events/155300>



【SALVAGED WORKS 出展概要】

出展者名：HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOM

会期：2026 年 10 月 30 日 (金) ～11 月 3 日 (火・祝) の 4 日間

出展会場：KK 線 (東京高速道路) 「AUTOBAHN」 EXHIBITION AREA 2

出展作品 URL：<https://www.designart.jp/designarttokyo2026/exhibitions/13833/>

出展チーム HAKUTEN INTERIOR DESIGN ROOMInstagram : <https://www.instagram.com/hakuten.idr/>HP : <https://interior-design-room.hakuten.co.jp/>

堀田 純希 | 株式会社博展 商環境事業部 クリエイティブ局長 アートディレクター/デザイナー
福岡県出身。九州大学芸術工学部卒業後、博展に入社。

同社インテリアデザイン領域におけるクリエイティブ局長/アートディレクター/デザイナーとして、店舗やオフィス、ミュージアムなど多種多様なプロジェクトを担当。スペースブランディング、ローカルプロデュース、コンテンツディレクション、など近年活躍の場を広げている。国内外のデザイン賞において多数の受賞実績を持つ。

川口 周二 | 株式会社博展 商環境事業部 クリエイティブ局 ルーム長 アートディレクター/デザイナー
神奈川県出身。横浜国立大学大学院 Y-GSA 卒業後、博展に入社。

建築計画の段階からプロジェクトに携わり、ショールームやオフィス、ミュージアムなどのアートディレクション・デザインを担当。建築的な視点から空間全体を捉えながら、素材や納まり、細部の表現にまでデザインを落とし込む。国内外のデザイン賞において多数の受賞実績を持つ。



<株式会社博展>

代表者：代表取締役 会長執行役員／田口 徳久、代表取締役 社長執行役員 CEO／原田 淳

所在地：〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン 20F

設立：1970年3月

事業内容：パーパス「人と社会のコミュニケーションにココロを通わせ、未来へつなげる原動力をつくる。」のもと、多様な“体験”を統合的にデザインし、企業や団体のマーケティング課題の解決に貢献しています。

▼公式サイトコーポレートサイト：<https://www.hakuten.co.jp>これからの“体験”を考える web マガジン「THINK EXPERIENCE (TEX)」：<https://www.hakuten.co.jp/tex>**▼公式 SNS ※各種イベント詳細を up しております。是非フォローをお願い致します。**Instagram : [@hakuten](https://www.instagram.com/hakuten) | X : [@HakutenCorp](https://twitter.com/HakutenCorp) | facebook : [@hakutencorp](https://www.facebook.com/hakutencorp)**▼取材に関するお問い合わせ**株式会社博展 広報・PR 担当 E-Mail : pr@hakuten.co.jp

※ご取材、実物の撮影、クリエイターインタビュー等に関するご要望は
上記メールアドレスまでお気軽にご連絡ください
